

世界の人びとのための J I C A 基金活用事業  
終了時活動報告書（2023 年度採択案件）

1. 業務の概要

(1) 案件名	こおりやまプレスクールモデル事業
(2) 実施団体名	こおりやま日本語教室
(3) 実施期間	2023 年 10 月 3 日～2024 年 9 月 30 日
(4) 実施国	日本
(5) 活動地域	福島県郡山市
(6) 活動概要	
①活動の背景：	
<p>外国人散在地域である郡山市では、外国にルーツを持つ子どもたちにとって、日本の教育環境に適応するための行政の支援が少ないことが課題である。</p> <p>近年、日本語教室に通う子どもたちの両親はともに外国出身の家族が増加している。日本の学校文化を知らない家族が増えてきたことにより、小学校入学の準備に不安を抱える家族からの問い合わせが増加してきた。</p> <p>総務省の統計によると、全国的に両親とも外国人の幼児が増加し、福島県でもこれから外国ルーツの新1年生が増加することが予測される。</p>	

2019年12月と2022年12月の家族滞在の比較（福島）

The chart shows a general increase in family stays across most age groups from 2019 to 2022. The most significant increases are seen in the 0-2 age group, with 2-year-olds showing the highest growth. There is also a notable increase in the 10-12 age group. The 13-15 age group shows a decrease, while the 16-18 age group shows a slight increase.

年齢	2019年12月	2022年12月
0歳	24	40
1歳	24	39
2歳	21	41
3歳	13	30
4歳	18	21
5歳	13	24
6歳	9	9
7歳	10	14
8歳	6	8
9歳	10	11
10歳	6	11
11歳	10	10
12歳	7	10
13歳	4	8
14歳	6	10
15歳	4	6
16歳	6	8
17歳	9	9
18歳	7	6

( ME-net 高橋清樹氏作成)

## ②活動の目標：

本事業の目的は、地域の日本語教室と外国出身保護者が連携して、外国にルーツを持つ地域の子どもたちが安心して小学校の学校生活に適應できるように環境を整備することにある。

当会は、プレスクール指導者研修会を開催しプレスクールを見学することにより、先進地の取り組みから学び、郡山市でプレスクールを開催することを目標とする。その際に、小学校入学準備資料の翻訳を地域の外国出身保護者に依頼し、HP から誰でもダウンロードできるようにする。プレスクール開催にあたっては教育委員会と連携し、学校とコミュニティの信頼関係を築き、**地域社会全体で子どもの学習・成長を支えていくことを目的とする。**(「プレスクール」は小学校入学前に、少しでも日本語や日本の学校文化を学び、学校生活が順調に送れるようにと、応援するプログラムである。)

## 2. 業務実施結果

### (1) 実施した内容

#### ◇就学时健康診断に同伴

- ・2023年10月17日(火)

教育委員会に事前相談をし、プレスクール事業のために就学时健康診断に同伴した。

#### ◇研修会開催

- ・2023年11月26日(日)

子どもの日本語指導者がプレスクールを開催するために必要な基礎知識を学ぶための研修会を開催した。プレススクールを長年実施している愛知県のNP0 団体理事を講師に迎え、会場とZoom 配信と、アーカイブ配信によりハイブリッドで講座を開催した。

#### ◇外国人保護者、外国人生徒児童を担当した学校・幼稚園教諭へのヒアリング

- ・2023年12月～2024年1月

郡山市及びその近隣の小学校と幼稚園の担任に面会し、現場の声をお聞きした。

#### ◇先進地視察

- ・2024年1月15日(日)～16日(月)

愛知県3団体視察(シェイクハンズ、プラス・エデュケート、トルシーダ)

- ・2024年2月3日(日)

群馬県太田市教育委員会主催 プレスクール

#### ◇新入学時保護者説明会参加

- ・2024年2月2日(金)

近隣の小学校に相談し保護者説明会に参加した。入学時の準備物等を資料の参考とした。

#### ◇プレススクール準備検討会

- ・2024年2月5日(月)

教案のたたき台をもとに、担当ボランティアで参加希望者の様子から教案を検討し、準備物の確認等を行った。

#### ◇プレススクール開催

外国にルーツを持つ子どもと保護者のためのプレススクール

### 保護者用資料作成（ルビふり版）

第1回 2024年2月10日（土）

第2回 2024年2月24日（土）

第3回 2024年3月9日（土）

第4回 2024年3月23日（土）

### ◇保護者向け資料改定

プレスクールが終了してから振り返りを開催し、保護者用資料について改訂した。

◇保護者向け資料翻訳（8言語）計画では5言語だったが、8言語に翻訳することができた。  
中国語、タガログ語、英語、ベトナム語、ネパール語、ポルトガル語、韓国語、ウルドゥー語

### ◇HPへの掲載

プレスクールコーナー作成

### ◇三つ折りパンフレット作成

プレスクール多言語資料に簡単に接続できるQRコード付き三つ折りパンフレットを作成した。

### ◇県内の子どもの日本語教室に学用品贈呈

## （2）実施成果：

### ◇就学時健康診断同伴

就学時健康診断では発達障がい疑われる児童に対し、特別支援学級をすすめていることがわかった。健診に同伴した事例では、通訳がいない状況で翻訳アプリを使った判定検査が実施されていた。検査結果が低く判定されるケースでは、日本語が良く理解できないためか、本当に発達に問題があるのか、判断が難しいのではないかと思った。特別支援クラスを進められた場合でも、保護者や本人の希望が優先されることも分かったので、今後の支援に役立てたい。

### ◇研修会開催

2023年11月26日（日）

会場、Zoom配信、録画配信というハイブリッド開催にしたことにより、福島県内だけでなく、他県からも申し込みがあり、広範囲の地域の方々にもプレスクールの研修を行うことができた。

受講者 50人（会場 17人 Zoom 14人 録画 19人）



プレスクール指導者研修会

### ◇外国人保護者、外国人生徒児童を担当した学校・幼稚園教諭へのヒアリング

2023年12月～2024年1月

保護者向けには中国語版、英語版、ベトナム語版のアンケート用紙を作成し、学校文化の違い等で困った体験を聞き取った。

学校関係者と保護者の困りごとを参考に、プレスクール保護者用資料を作成することができた。

### ◇先進地視察

2024年1月15日（日）～16日（月）

## 愛知県 3 団体視察

(シェイクハンズ プラス・エデュケート トルシーダ)

2024 年 2 月 3 日

群馬県太田市教育委員会主催プレスクール

実際のプレスクール（プレクラス）の様子を見学させていただいた。長時間の集中が難しい幼児を指導するにあたり、教材や鉛筆を生徒に配るタイミングが、とても参考になった。

また生徒によって取り組む時間も違って、早く終わった生徒に次に何を指示するかなども事前に準備されていた。子どもたちを実際に指導してきた体験が蓄積されていると感じた。

群馬県太田市では保護者のためのクラスもあり、当会が目指すプレスクールの参考になった。また配布資料も提供していただき、保護者用資料のたたき台となった。



先進地視察

## ◇プレスクール準備検討会

2024 年 2 月 5 日（月）

プレスクールに応募してきた児童が 5 人あり、全員が来日して間もなかったり、日本語が話せないことがわかったため、プレスクールで取り組む活動を厳選した。準備期間が短かったので、進行や準備物作成を分担した。LINE でグループを作り細部まで打ち合わせをした。

## ◇プレスクール開催

### 教案作成

第 1 回 2024 年 2 月 10 日（土）

「あいうえおの歌を うたう」

第 2 回 2024 年 2 月 24 日（土）

「自分の名前を書く」

第 3 回 2024 年 3 月 9 日（土）

はさみと のりの 使い方」

第 4 回 2024 年 3 月 23 日（土）

「まとめの学習 修了式」



第 2 回プレスクール

毎回終了後に振り返りを行い、次回の活動内容を相談した。参加している児童の日本語能力に対応した内容に合わせながら開催した。

教育委員会に広報を依頼し、新入学時保護者説明会の会場にプレスクールのチラシを設置することができた。県内の外国人コミュニティ団体にも広報したので、郡山市以外に在住する児童も参加することができた。教育委員会や外国人コミュニティと連携して開催することができた。



先輩保護者体験談発表

参加児童 5 人

中国ルーツ 3 人 ベトナムルーツ 1 人

トルコとボスニアヘルツェゴビナルーツ 1 人

参加した家族から、小学校生活にスムーズに対応することができたと感想が寄せられた。参加した 5 人の児童のうち 4 人が入学後も当会で継続して日本語を学んでいる。

(1 名はサッカークラブ入会)



第 4 回プレスクール修了式

#### ◇保護者向け資料改定

保護者向け資料はプレスクールが終了してから振り返りを開催し、内容を改訂した。

#### ◇保護者向け資料翻訳（8 言語）

地域在住のキーパーソンになっている保護者等に翻訳を依頼し、8 言語で作成することができた。

ネパール語やウルドゥー語など希少言語にも翻訳できたため、資料の利用者の範囲を拡大できると思われる。

#### ◇HP への掲載

外国人散在地域ではプレスクールの支援を必要としている生徒が毎年いるとは限らない。

そこで、開催した研修会の資料や、先進地視察の詳しい内容、こおりやま日本語教室で開催したプレスクールの教案を HP に掲載した。外国出身住民の背景が多様化してきているので、保護者用資料を 8 言語に翻訳して HP に掲載し、いつでも活用できるようにした。



多言語保護者用資料

<http://koriyama-nihongo.org/preschool/>

#### ◇三つ折りパンフレット作成

プレスクールの資料にたどり着きやすいように、こおりやま日本語教室の三つ折りパンフレットを QR コード付きに改訂して作成した。



#### ◇県内の子どもの日本語教室に学用品贈呈

先進地視察に参加した県内の子どもの日本語教室に、プレスクールを開始できるように学用品を贈った。

福島市 蓬萊日本語教室

伊達市 日本語教室伊達ニティ

いわき市 おひさま日本語教室



プレスクール用学用品贈呈

#### （3）得られた教訓など：

・小学校入学前の幼児をクラス形式で指導するためには教材準備だけでなく、細かい配慮が必要なことが分かった。集中力が持続しない幼児には、準備物はその時使うものだけ目の届く場所に置く必要があることが分かった。第一回目の授業で、時間内に使う文房具をまとめて配置してしまい、児童が気が散って学習に集中できない事態になってしまった。



#### **（４）今後の活動・フォローアップの方針：**

- ・ プレスクールモデル事業は入学前の２月～３月に４回開催したが、それだけではひらがなの学習が充分でなかった。総会の話し合いの中で、もっと早い時期から受け入れて指導回数を増やし、ひらがなの定着をはかりたいという意見がだされた。そこで通年開催しているこおりやま日本語教室の受け入れ年齢を変更し、次年度小学校に入学する年長児から受け入れることとした。
- ・ 「もうすぐ小学１年生」という多言語資料を作成したので、通訳を依頼しなくても入学準備について説明できるようになった。
- ・ こおりやま日本語教室と接点のない幼稚園に在籍している外国ルーツの年長児童や自宅で保育されている外国ルーツの家族にも、日本語教室を認知してもらうことが課題である。

### **３．その他(エピソード・感想・写真など)**

#### **（１）活動中のエピソード・感想など**

・ 保護者向けのプレススクールで、保護者の体験談を話していただく機会があった。連絡帳を持参していただいた際に、「たてには書けないので、よこに書いてもいいですか？」と記入されていた。改めて、日本語は横書きと縦書きと両方使う文化なので、保護者でも苦労していることを認識した。子どもたちの名前の書き方を練習する際、初めは縦書きで練習し、最後の回に横書きで書く練習を行った。促音や拗音など小さく書く文字をどの位置に書くかは、縦書きと横書きでは違っているので、見本を作成する時に苦労をした。

#### **（２）JICA 基金活用事業を実施したことで団体の成長につながった点・良かった点**

JICA 基金活用事業を実施したことにより、郡山でも豊富な内容を短期間で準備し、プレススクールを開催することができた。

研修会では、多くの写真を使って説明していただき、指導方法を学ぶことができた。愛知県や群馬県のプレススクール先進地を訪問し、実際に見学することができたことは貴重な体験になった。教室見学では、生徒の日本語レベルがばらついていても、適切なサポートや迅速な指導を目の当たりにし、大いに勉強になった。

JICA 基金の支援により、プレススクールを実施するだけでなく、入学準備資料を８言語に翻訳し、HPに公開することができた。この資料を、福島県内はもとより他の地域でも広く活用していただければ幸いである。

以 上